



NEWS RELEASE

2026.9.1

**一般社団法人日本災害食学会 2026 年学術大会で学会賞“口頭発表部門第 1 位”を獲得！
日本最適化栄養食協会は“最適化栄養食”を使った蓄電池による電子レンジ運用での災害
時適温食の提供の可能性について共同発表を行いました**

一般社団法人 日本最適化栄養食協会（理事長：伊藤裕）は、2026 年 8 月 28 日（金）東京大学伊藤国際学術研究センター（東京都文京区）で開催された一般社団法人日本災害食学会 2026 年学術大会で、日本赤十字看護大学附属災害救護研究所災害救援技術部門専任研究員の根本昌宏氏らと共同発表しました。

一般社団法人日本災害食学会 2026 年学術大会の口頭発表部門第 1 位！

蓄電池を用いた電子レンジで調理した“適温食”と“最適化栄養食”の有用性を報告



表彰状を受け取る根本昌宏氏



口頭発表の様子

一般社団法人 日本最適化栄養食協会は、2026 年 8 月 28 日（金）に開催された一般社団法人日本災害食学会 2026 年学術大会（大会長：櫻庭 英悦）において、日本赤十字看護大学附属災害救護研究所災害救援技術部門専任研究員の根本昌宏氏らと共同で “最適化栄養食” を使った蓄電池による電子レンジ運用での災害時適温食提供について共同発表しました。

本発表では、2026 年 1 月に実施された日本赤十字北海道看護大学の「厳冬期避難所展開・宿泊演習 2026」での実証データを基に、大容量蓄電池 12 台、電子レンジ 12 台等を使い、主要な栄養素がバランスよく適切に調整された最適化栄養食（冷凍食品）で、簡便・安全・衛生・栄養そしておいしさの視点を網羅する大規模炊き出しを実現したことが報告されました。

学会参加者の投票によって選出される「学会賞」において、本発表は口頭発表部門で第 1 位を獲得し、見事「学会賞」を受賞いたしました。閉会式内で行われた表彰式では、発表者の根本昌宏氏に表彰状が授与されました。

当協会は、災害時の栄養課題や多様な社会課題の解決をサポートするため、今後も産学連携による“最適化栄養食”の普及・推進活動を展開してまいります。



■「一般社団法人 日本最適化栄養食協会」について

1. 目的

年齢や性別、生活習慣など、一人ひとりの状態に合わせて主要な栄養素がバランスよく適切に調整された食を通じ、人々のウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に良好な状態にあること）に資することを目的として、次の事業を行う。

2. 事業内容

- (1) 最適化栄養食及びその評価に関する規格化
- (2) 最適化栄養食の栄養設計基準登録、製品認証
- (3) 最適化栄養食に関する調査研究
- (4) 最適化栄養食の普及に関する活動
- (5) 前各号に掲げるもののほか、当協会の目的を達成するために必要な事業

■「最適化栄養食」とは

最適化栄養食とは、年齢や性別、生活習慣などに応じて、一人ひとりの状態に合わせて主要な栄養素がバランスよく適切に調整されていて、ターゲットとする対象者における健康に与える影響がヒト試験などで検証された食です。日本最適化栄養食協会では最適化栄養食の栄養設計を登録し、製品認証を行ってきました。2023 年 7 月に初めて最適化栄養食の認証がされて以来、認証製品累計出荷数は 5400 万食を突破^{*1}しました。

■「最適化栄養食」認証マークについて

「最適化栄養食」認証マークは、当協会に登録された栄養設計基準を過不足なく満たすことのできた製品にのみ付与されます。



■「一般社団法人 日本最適化栄養食協会」ウェブサイト

[URL] <https://www.saiteki-eiyo.org>

*1 2023 年 7 月 3 日～2026 年 3 月 31 日の「最適化栄養食協会認証製品」の累計出荷数から算出（当協会調べ）

このリリースに関するお問い合わせ先

「一般社団法人 日本最適化栄養食協会」
東京都渋谷区千駄ヶ谷三丁目 50 番 11 号
contact@saiteki-eiyo.org